

表（１） 支援学校「幼稚部・小学部共通」・「小学部」・「中学部」・「高等部」

校種等	模 擬 授 業 の 内 容
支援学校 幼稚部・小学部共通、 小学部	≪ 特別支援学校 小学部・中学部学習指導要領 第2章 第1節 小学部 第2款 第1 各教科の目標 及び内容 [生活] 2 各段階の目標及び内容 ≫ ○2段階 (2) 内容 キ 手伝い・仕事 (1) 簡単な手伝いや仕事について知ること。(P.84)
支援学校 中学部	≪ 特別支援学校 小学部・中学部学習指導要領 第2章 第2節 中学部 第2款 第1 各教科の目標 及び内容 [職業・家庭] 2 各段階の目標及び内容 ≫ ○1段階 (2) 内容 職業分野 C 産業現場等における実習 ア 職業や進路に関わることに興味をもったり、調べたりすること。(P.180)
支援学校 高等部	≪ 特別支援学校 高等部学習指導要領 第2章 第2節 第1款 [職業] 2 各段階の目標及び内容 ≫ ○2段階 (2) 内容 C 産業現場等における実習 ア 職業など卒業後の進路に必要となることについて理解を深めること。(P.237)

表（２） 上記（１）以外の受験者  
【小学校・小中いきいき連携】

校種等・教科(科目)	模 擬 授 業 の 内 容
小学校 小中いきいき連携	≪ 小学校学習指導要領解説 国語編 第3章 第3節 第5学年及び第6学年の内容 2 [思考力、判断 力、表現力等] ≫ C 読むこと (1) 読むことに関する次の事項を身に付けることができるよう指導する。 イ 登場人物の相互関係や心情などについて、描写を基に捉えること。(P.146)
※ 国語・社会・算数・ 理科・英語 から一つ 選択して模擬授業を 行うこと。	≪ 小学校学習指導要領解説 社会編 第3章 第1節 第3学年の目標及び内容 2 第3学年の内容 ≫ (2) 地域に見られる生産や販売の仕事について、学習の問題を追究・解決する活動を通して、次の事項を身 に付けることができるよう指導する。 ア 次のような知識及び技能を身に付けること。 (ウ) 見学・調査したり地図などの資料で調べたりして、白地図などにまとめること。(P.37)
	≪ 小学校学習指導要領解説 算数編 第3章 第4節 2 第4学年の内容 ≫ C 変化と関係 (1) 伴って変わる二つの数量に関わる数学的活動を通して、次の事項を身に付けることができるよう指 導する。 ア 次のような知識及び技能を身に付けること。 (ア) 変化の様子を表や式、折れ線グラフを用いて表したり、変化の特徴を読み取ったりすること。 (P.214)
	≪ 小学校学習指導要領解説 理科編 第3章 第3節 2 第5学年の内容 ≫ A 物質・エネルギー (2) 振り子の運動 ア 次のことを理解するとともに、観察、実験などに関する技能を身に付けること。 (ア) 振り子が1往復する時間は、おもりの重さなどによっては変わらないが、振り子の長さによっ て変わること。(P.65)
	≪ 小学校学習指導要領解説 外国語活動・外国語編 第1部 第2章 第2節 2 内容 [第3学年及び第 4学年] ≫ [思考力、判断力、表現力等] (3) 言語活動及び言語の働きに関する事項 ① 言語活動に関する事項 イ 話すこと [やり取り] (イ) 自分のことや身の回りの物について、動作を交えながら、好みや要求などの自分の考えや気 持ちなどを伝え合う活動。(P.32)

【中学校】

校種等・教科(科目)	模 擬 授 業 の 内 容
中学校・国語	≪ 中学校学習指導要領解説 国語編 第3章 第3節 第3学年の内容 ≫ 2 [思考力、判断力、表現力等] C 読むこと (1) 読むことに関する次の事項を身に付けることができるよう指導する。 イ 文章を批判的に読みながら、文章に表れているものの見方や考え方について考えること。(P.126)
中学校・社会  ※ 地理的分野・歴史的分野・公民的分野から一つ選択して模擬授業を行うこと。	≪ 中学校学習指導要領解説 社会編 第2章 第2節 1 地理的分野の目標、内容及び内容の取扱い (2) 内容 ≫ A 世界と日本の地域構成 (1) 地域構成 ア 次のような知識を身に付けること。 (イ) 我が国の国土の位置、世界各地との時差、領域の範囲や変化とその特色などを基に、日本の地域構成を大観し理解すること。(P.38)  ≪ 中学校学習指導要領解説 社会編 第2章 第2節 2 歴史的分野の目標、内容及び内容の取扱い (2) 内容 ≫ B 近世までの日本とアジア (1) 古代までの日本 ア 次のような知識を身に付けること。 (ウ) 律令国家の形成 律令国家の確立に至るまでの過程、摂関政治などを基に、東アジアの文物や制度を積極的に取り入れながら国家の仕組みが整えられ、その後、天皇や貴族による政治が展開したことを理解すること。(P.97)  ≪ 中学校学習指導要領解説 社会編 第2章 第2節 3 公民的分野の目標、内容及び内容の取扱い (2) 内容 ≫ B 私たちと経済 (1) 市場の働きと経済 ア 次のような知識を身に付けること。 (エ) 勤労の権利と義務、労働組合の意義及び労働基準法の精神について理解すること。(P.142)
中学校・数学	≪ 中学校学習指導要領解説 数学編 第3章 第1節 2 第1学年の内容 ≫ C 関数 (1) 比例、反比例について、数学的活動を通して、次の事項を身に付けることができるよう指導する。 ア 次のような知識及び技能を身に付けること。 (ア) 関数関係の意味を理解すること。(P.82)
中学校・理科  ※四つの中から一つ選択して模擬授業を行うこと。	≪ 中学校学習指導要領解説 理科編 第2章 第2節 [第1分野] 2 第1分野の内容 ≫ (5) 運動とエネルギー ア 物体の運動とエネルギーを日常生活や社会と関連付けながら、次のことを理解するとともに、それらの観察、実験などに関する技能を身に付けること。 (ア) 力のつり合いと合成・分解 ㉞ 水中の物体に働く力 水圧についての実験を行い、その結果を水の重さと関連付けて理解すること。また、水中にある物体には浮力が働くことを知ること。(P.52)  ≪ 中学校学習指導要領解説 理科編 第2章 第2節 [第1分野] 2 第1分野の内容 ≫ (6) 化学変化とイオン ア 化学変化をイオンのモデルと関連付けながら、次のことを理解するとともに、それらの観察、実験などに関する技能を身に付けること。 (イ) 化学変化と電池 ㉞ 化学変化と電池 電解質水溶液と2種類の金属などを用いた実験を行い、電池の基本的な仕組みを理解するとともに、化学エネルギーが電気エネルギーに変換されていることを知ること。(P.61)  ≪ 中学校学習指導要領解説 理科編 第2章 第2節 [第2分野] 2 第2分野の内容 ≫ (5) 生命の連続性 ア 生命の連続性に関する事物・現象の特徴に着目しながら、次のことを理解するとともに、それらの観察、実験などに関する技能を身に付けること。 (ウ) 生物の種類の多様性と進化 ㉞ 生物の種類の多様性と進化 現存の生物及び化石の比較などを通して、現存の多様な生物は過去の生物が長い時間の経過の中で変化して生じてきたものであることを体のつくりと関連付けて理解すること。(P.102)

校種等・教科(科目)	模 擬 授 業 の 内 容
中学校・理科  ※四つの中から一つ 選択して模擬授業を 行うこと。	≪ 中学校学習指導要領解説 理科編 第2章 第2節 [第2分野] 2 第2分野の内容 ≫ (2) 大地の成り立ちと変化 ア 大地の成り立ちと変化を地表に見られる様々な事物・現象と関連付けながら、次のことを理解するとともに、それらの観察、実験などに関する技能を身に付けること。 (ウ) 火山と地震 ① 地震の伝わり方と地球内部の働き 地震の体験や記録を基に、その揺れの大きさや伝わり方の規則性に気付くとともに、地震の原因を地球内部の働きと関連付けて理解し、地震に伴う土地の変化の様子を理解すること。(P.83)
中学校・音楽	≪ 中学校学習指導要領解説 音楽編 第3章 第1節 第1学年の目標と内容 2 内容 ≫ A 表現 (1) 歌唱の活動を通して、次の事項を身に付けることができるよう指導する。 ア 歌唱表現に関わる知識や技能を得たり生かしたりしながら、歌唱表現を創意工夫すること。(P.37)
中学校・美術	≪ 中学校学習指導要領解説 美術編 第3章 第1節 第1学年の目標と内容 2 内容 ≫ B 鑑賞 (1) 鑑賞の活動を通して、次のとおり鑑賞に関する資質・能力を育成する。 イ 生活の中の美術の働きや美術文化についての見方や感じ方を広げる活動を通して、鑑賞に関する次の事項を身に付けることができるよう指導する。 (イ) 身近な地域や日本及び諸外国の文化遺産などのよさや美しさなどを感じ取り、美術文化について考えるなどして、見方や感じ方を広げること。(P.70)
中学校・保健体育	≪ 中学校学習指導要領解説 保健体育編 第2章 第2節 [保健分野] 2 内容 ≫ (2) 心身の機能の発達と心の健康 ア 心身の機能の発達と心の健康について理解を深めるとともに、ストレスへの対処をすること。 (エ) 精神と身体は、相互に影響を与え、関わっていること。欲求やストレスは、心身に影響を与えることがあること。また、心の健康を保つには、欲求やストレスに適切に対処する必要があること。(P.215)
中学校・技術	≪ 中学校学習指導要領解説 技術・家庭編 第2章 第2節 3 技術分野の内容 ≫ A 材料と加工の技術 (1) 生活や社会を支える材料と加工の技術について調べる活動などを通して、次の事項を身に付けることができるよう指導する。 ア 材料や加工の特性等の原理・法則と、材料の製造・加工方法等の基礎的な技術の仕組みについて理解すること。(P.27)
中学校・家庭	≪ 中学校学習指導要領解説 技術・家庭編 第2章 第3節 3 家庭分野の内容 ≫ A 家族・家庭生活 (1) 自分の成長と家族・家庭生活 ア 自分の成長と家族や家庭生活との関わりが分かり、家族・家庭の基本的な機能について理解するとともに、家族や地域の人々と協力・協働して家庭生活を営む必要があることに気付くこと。(P.70)
中学校・英語	≪ 中学校学習指導要領解説 外国語編 第2章 第2節 2 内容 ≫ [思考力、判断力、表現力等] (3) 言語活動及び言語の働きに関する事項 ① 言語活動に関する事項 エ 話すこと [やり取り] (ア) 関心のある事柄について、相手からの質問に対し、その場で適切に応答したり、関連する質問をしたりして、互いに会話を継続する活動。(P.61)

## 【高等学校】

校種等・教科(科目)	模擬授業の内容
高等学校・国語	≪ 高等学校学習指導要領解説 国語編 第2章 第1節 現代の国語 3 内容 ≫ [思考力、判断力、表現力等] C 読むこと (1) 読むことに関する次の事項を身に付けることができるよう指導する。 イ 目的に応じて、文章や図表などに含まれている情報を相互に関係付けながら、内容や書き手の意図を解釈したり、文章の構成や論理の展開などについて評価したりするとともに、自分の考えを深めること。(P.98)
高等学校・地理歴史 (日本史)	≪ 高等学校学習指導要領解説 地理歴史編 第2章 第4節 日本史探究 2 内容とその取扱い ≫ A 原始・古代の日本と東アジア (3) 古代の国家・社会の展開と画期(歴史の解釈、説明、論述) イ 次のような思考力、判断力、表現力等を身に付けること。 (1) 地方の諸勢力の成長と影響、東アジアとの関係の変化、社会の変化と文化との関係などに着目して、主題を設定し、古代の国家・社会の変容について、事象の意味や意義、関係性などを多面的・多角的に考察し、歴史に関わる諸事象の解釈や歴史の画期などを根拠を示して表現すること。(P.213)
高等学校・地理歴史 (世界史)	≪ 高等学校学習指導要領解説 地理歴史編 第2章 第5節 世界史探究 2 内容とその取扱い ≫ B 諸地域の歴史的特質の形成 (3) 諸地域の歴史的特質 ア 次のような知識を身に付けること。 (ア) 秦・漢と遊牧国家、唐と近隣諸国の動向などを基に、東アジアと中央ユーラシアの歴史的特質を理解すること。(P.296)
高等学校・地理歴史 (地理)	≪ 高等学校学習指導要領解説 地理歴史編 第2章 第2節 地理探究 2 内容とその取扱い ≫ A 現代世界の系統地理的考察 (1) 自然環境 イ 次のような思考力、判断力、表現力等を身に付けること。 (ア) 地形、気候、生態系などに関わる諸事象について、場所の特徴や自然及び社会的条件との関わりなどに着目して、主題を設定し、それらの事象の空間的な規則性、傾向性や、関連する地球的課題の要因や動向などを多面的・多角的に考察し、表現すること。(P.85)
高等学校・公民 (政治・経済)	≪ 高等学校学習指導要領解説 公民編 第2章 第3節 政治・経済 2 内容とその取扱い ≫ A 現代日本における政治・経済の諸課題 (1) 現代日本の政治・経済 イ 次のような思考力、判断力、表現力等を身に付けること。 (イ) 市場経済の機能と限界、持続可能な財政及び租税の在り方、金融を通じた経済活動の活性化について多面的・多角的に考察、構想し、表現すること。(P.129)
高等学校・公民 (倫理)	≪ 高等学校学習指導要領解説 公民編 第2章 第2節 倫理 2 内容とその取扱い ≫ B 現代の諸課題と倫理 (1) 自然や科学技術に関わる諸課題と倫理 ア 生命、自然、科学技術などと人間との関わりについて倫理的課題を見だし、その解決に向けて倫理に関する概念や理論などを手掛かりとして多面的・多角的に考察し、公正に判断して構想し、自分の考えを説明、論述すること。(P.110)
高等学校・数学	≪ 高等学校学習指導要領解説 数学編 理数編 第1部 第2章 第2節 数学Ⅱ 3 内容と内容の取扱い ≫ (5) 微分・積分の考え ア 次のような知識及び技能を身に付けること。 (ア) 微分係数や導関数の意味について理解し、関数の定数倍、和及び差の導関数を求めること。(P.64)

校種等・教科(科目)	模 擬 授 業 の 内 容
高等学校・理科 (物理)	≪ 高等学校学習指導要領解説 理科編 理数編 第1部 第2章 第3節 物理 3 内容とその範囲、程度 ≫ (1) 様々な運動 ア 様々な運動について、次のことを理解するとともに、それらの観察、実験などに関する技能を身に付けること。 (イ) 万有引力 ㊦ 惑星の運動 惑星の観測資料に基づいて、惑星の運動に関する法則を理解すること。(P.67)
高等学校・理科 (化学)	≪ 高等学校学習指導要領解説 理科編 理数編 第1部 第2章 第4節 化学基礎 3 内容とその範囲、程度 ≫ (3) 物質の変化とその利用 ア 物質と化学反応式、化学反応、化学が拓く世界について、次のことを理解するとともに、それらの観察、実験などに関する技能を身に付けること。 (イ) 化学反応 ㊦ 酸・塩基と中和 酸や塩基に関する実験などを行い、酸と塩基の性質及び中和反応に関与する物質の量的関係を理解すること。(P.92)
高等学校・理科 (生物)	≪ 高等学校学習指導要領解説 理科編 理数編 第1部 第2章 第7節 生物 3 内容とその範囲、程度 ≫ (3) 遺伝情報の発現と発生 ア 遺伝情報の発現と発生について、次のことを理解するとともに、それらの観察、実験などに関する技能を身に付けること。 (ウ) 遺伝子を扱う技術 ㊦ 遺伝子を扱う技術 遺伝子を扱う技術について、その原理と有用性を理解すること。(P.140)
高等学校・理科 (地学)	≪ 高等学校学習指導要領解説 理科編 理数編 第1部 第2章 第8節 地学基礎 3 内容とその範囲、程度 ≫ (1) 地球のすがた イ 地球のすがたについて、観察、実験などを通して探究し、惑星としての地球、活動する地球、大気と海洋について、規則性や関係性を見いだして表現すること。 (イ) 活動する地球 ㊦ プレートの運動 プレートの分布と運動について理解するとともに、大地形の形成と地質構造をプレートの運動と関連付けて理解すること。(P.152)
高等学校・音楽	≪ 高等学校学習指導要領解説 芸術編 音楽編 美術編 第1部 第2章 第1節 音楽I 3 内容 ≫ A 表現 (1) 歌唱 ア 歌唱表現に関わる知識や技能を得たり生かしたりしながら、自己のイメージをもって歌唱表現を創意工夫すること。(P.28)
高等学校・美術	≪ 高等学校学習指導要領解説 芸術編 音楽編 美術編 第1部 第2章 第4節 美術I 3 内容 ≫ B 鑑賞 (1) 鑑賞 イ 生活や社会の中の美術の働きや美術文化についての見方や感じ方を深める鑑賞 (1) 日本及び諸外国の美術作品や文化遺産などから美意識や創造性などを感じ取り、日本の美術の歴史や表現の特質、それぞれの国の美術文化について考え、見方や感じ方を深めること。 (P.123)
高等学校・保健体育	≪ 高等学校学習指導要領解説 保健体育編 体育編 第1部 第2章 第2節 「保健」 3 内容 ≫ (1) 現代社会と健康 ア 現代社会と健康について理解を深めること。 (オ) 精神疾患の予防と回復 精神疾患の予防と回復には、運動、食事、休養及び睡眠の調和のとれた生活を実践するとともに、心身の不調に気付くことが重要であること。また、疾病の早期発見及び社会的な対策が必要であること。(P.199)
高等学校・家庭	≪ 高等学校学習指導要領解説 家庭編 第1部 第2章 第2節 家庭総合 2 内容とその取扱い ≫ A 人の一生と家族・家庭及び福祉 (2) 青年期の自立と家族・家庭及び社会 ア 次のような知識を身に付けること。 (ア) 生涯発達の視点から各ライフステージの特徴と課題について理解するとともに、青年期の課題である自立や男女の平等と協力、意思決定の重要性について理解を深めること。(P.53)

校種等・教科(科目)	模 擬 授 業 の 内 容
高等学校・農業	≪ 高等学校学習指導要領解説 農業編 第2章 第14節 植物バイオテクノロジー 第2 内容とその取扱い 2 内容 ≫ [指導項目] (4) 植物の増殖能力の利用 ア 組織培養の目的と技術体系 (P.124)
高等学校・工業 (機械)	≪ 高等学校学習指導要領解説 工業編 第2章 第4節 製図 第2 内容とその取扱い 2 内容 ≫ [指導項目] (1) 製図の役割 ア 製図と規格 (P.34)
高等学校・工業 (電気)	≪ 高等学校学習指導要領解説 工業編 第2章 第18節 電気回路 第2 内容とその取扱い 2 内容 ≫ [指導項目] (2) 直流回路 ア 直流回路の電流・電圧 (P.120)
高等学校・工業 (工業化学)	≪ 高等学校学習指導要領解説 工業編 第2章 第42節 工業化学 第2 内容とその取扱い 2 内容 ≫ [指導項目] (1) 物質と化学 イ 物質の変化と量 (P.263)
高等学校・工業 (土木)	≪ 高等学校学習指導要領解説 工業編 第2章 第37節 測量 第2 内容とその取扱い 2 内容 ≫ [指導項目] (1) 土木における測量 ウ 角の測量 (P.234)
高等学校・英語	≪ 高等学校学習指導要領解説 外国語編 英語編 第1部 第2章 第2節 英語コミュニケーションⅠ 2 内容 ≫ [思考力、判断力、表現力等] (2) 情報を整理しながら考えなどを形成し、英語で表現したり、伝え合ったりすることに関する事項 ウ 日常的な話題や社会的な話題について、伝える内容を整理し、英語で話したり書いたりして、要点や意図などを明確にしながら、情報や自分自身の考えなどを伝え合うこと。(P.41)
高等学校・韓国・朝鮮語	※ P121にある「第8節 その他の外国語に関する科目」の内容に従い、下記の内容に関して「英語」を「韓国・朝鮮語」に読み替えて模擬授業を行ってください。 ≪ 高等学校学習指導要領解説 外国語編 英語編 第1部 第2章 第2節 英語コミュニケーションⅠ 2 内容 ≫ [知識及び技能] (1) 英語の特徴やきまりに関する事項 エ 文構造及び文法事項 (イ) 文法事項 (P.37)
高等学校・看護	≪ 高等学校学習指導要領解説 看護編 第2章 第3節 疾病の成り立ちと回復の促進 第2 内容とその取扱い 2 内容 ≫ [指導項目] (1) 疾病の原因と生体の回復 イ 疾病の原因 (P.29)
高等学校・情報	≪ 高等学校学習指導要領解説 情報編 第1部 第2章 第1節 情報Ⅰ 2 内容とその取扱い ≫ (1) 情報社会の問題解決 ア 次のような知識及び技能を身に付けること。 (イ) 情報に関する法規や制度、情報セキュリティの重要性、情報社会における個人の責任及び情報モラルについて理解すること。(P.23)
高等学校・公民・福祉共通	≪ 高等学校学習指導要領解説 福祉編 第2章 第8節 こころとからだの理解 第2 内容とその取扱い 2 内容 ≫ [指導項目] (4) 認知症の理解 イ 認知症に伴う心身の変化と日常生活 (P.66)

【養護教諭、栄養教諭、支援学校・自立活動（肢体不自由教育）】

校種等・教科（科目）	模 擬 授 業 の 内 容
養護教諭	≪ 中学校学習指導要領解説 保健体育編 第2章 第2節〔保健分野〕 2 内容 ≫ (1) 健康な生活と疾病の予防 ア 健康な生活と疾病の予防について理解を深めること。 (ウ) 感染症は、病原体が主な要因となって発生すること。また、感染症の多くは、発生源をなくすこと、感染経路を遮断すること、主体の抵抗力を高めることによって予防できること。(P.207)
栄養教諭	≪ 中学校学習指導要領解説 保健体育編 第2章 第2節〔保健分野〕 2 内容 ≫ (1) 健康な生活と疾病の予防 ア 健康な生活と疾病の予防について理解を深めること。 (ウ) 生活習慣病などは、運動不足、食事の量や質の偏り、休養や睡眠の不足などの生活習慣の乱れが主な要因となって起こること。また、生活習慣病などの多くは、適切な運動、食事、休養及び睡眠の調和のとれた生活を実践することによって予防できること。(P.207)
自立活動 （肢体不自由教育）	≪ 特別支援学校 小学部・中学部学習指導要領 第7章 自立活動 第2 内容 ≫ 1 健康の保持 (1) 生活のリズムや生活習慣の形成に関すること。(P.199)

◎ 表中に示されている各学習指導要領のページ番号は、文部科学省（mext.go.jp）の WEB ページ上にある平成29・30・31年改訂学習指導要領（[https://www.mext.go.jp/a\\_menu/shotou/new-cs/1384661.htm](https://www.mext.go.jp/a_menu/shotou/new-cs/1384661.htm)）に掲載されている箇所のページ番号を表しています。詳細な内容が別ページに記載されている場合もありますので注意してください。

◎ 模擬授業の内容に関する質問については、お答えできません。